

9月1日に「総合防災訓練」を実施しました
～新型コロナウイルス禍における大規模地震に対する災害対応を強化～

福島河川国道事務所では、毎年防災週間（8月30日～9月5日）中に防災訓練を実施しています。今年は9月1日（水）に福島県沖を震源とする地震を想定し、職員の防災力の向上を図ることを目的として、災害発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び多様な情報通信機器を活用した情報共有などをはじめとする初動対応訓練を実施しました。

1. 訓練日時 令和3年9月1日（火） 9：40～12：00
2. 訓練想定
○震源：福島県沖を震源とする地震
○震度：福島県中通り 最大震度6強
3. 訓練箇所
福島河川国道事務所管内
災害対策支部設置箇所 福島河川国道事務所 3F防災センター及び3F大会議室
4. 主な訓練内容
(1) 災害対策支部設置訓練
(2) 所管施設等点検（机上）、情報伝達訓練
(3) ドローンカメラによる映像配信訓練
(4) 緊急復旧訓練（机上）
(5) TV会議活用訓練
(6) 関係機関との情報交換、リエゾン派遣訓練
(7) 参加予定人数 事務所全職員（約140人） 関係機関7機関（約20人）
5. 訓練のポイント
(1) 今回の訓練は、福島県がまん延防止等重点措置対象地域となったことを考慮し、外部との接触を全面的に抑え、感染症対策を講じながら、マスクの着用、防災センター参集人員の制限、換気対策等を実施して行いました。
(2) スマートフォンによる映像配信およびドローンカメラによる現地からの映像中継による情報収集に加え、数10km離れたところから映像や音声を配信出来る可搬式災害対策用無線アクセスシステム（i-RAS（アイラス））を用いた映像中継を行いました。

発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024（546）4331（代）

副所長（品確）

まえだ たかし
前田 隆（内線 206）

防災課長

とうげだてひでお
峠館 秀男（内線 281）



現場からのスマホを使ったライブ映像配信



リモートによる被災状況報告